

# 基地協 ニュース

発行：座間市基地返還等市民連絡協議会 発行日：令和8年3月31日  
 事務局：座間市総合政策部総合政策課基地政策係 046-252-8307（直通）  
 座間市HP：<http://www.city.zama.kanagawa.jp/>

## 令和7年度 定期総会開催

令和7年4月28日に、令和7年度座間市基地返還等市民連絡協議会定期総会をサニープレイス座間にて開催しました。

総会では、「令和7年度顧問の委嘱について」「令和6年度事業実績及び収支決算について」「令和7年度役員の選任、事業計画及び収支予算について」の議案が審議され、全て承認されました。



令和7年4月28日定期総会の様子

## 基地等視察

本協議会では基地への理解を深めるための重要事業として視察を実施しています。

令和8年2月3日（令和7年度事業）に基地協メンバー26名がキャンプ座間に所在する、『陸上自衛隊座間駐屯地』及び『在日米陸軍基地管理本部』の視察を実施しました。

午前中は陸上自衛隊の視察を行い、冒頭に第4施設群長兼座間駐屯地司令を務める橋口1等陸佐から挨拶をいただいた後、同組織の任務、役割について説明をいただきました。その後、外に移動し、様々な重機や装備品について、説明を受け、最後に隊員食堂にて自衛隊の食事を体験しました。

午後には、旧陸軍士官学校時代の建築である『絆ホール』（旧大講堂）にて、在日米陸軍基地管理本部司令官を務めるエリック・デイヴィス大佐から挨拶をいただいた後、同組織の任務、役割について説明をいただきました。その後、バスに乗車し、基地内の施設を車窓から見学しながら、説明をいただきました。最後に、キャンプ座間の北部に所在する、キャスナー飛行場にて、ヘリコプターの実機を目の前に装備の説明を受け、また、管制室にて業務や役割の説明を受けました。キャンプ座間に所在する自衛隊及び在日米陸軍の現況に対する認識を深めた1日となりました。



絆ホールにて集合写真



自衛隊の装備品の説明を受ける様子



自衛隊の昼食を体験するメンバー



ヘリコプター前で説明を受ける様子

# キャンプ座間に関する協議会第25回幹事会報告

1 日時 令和8年3月17日(火) 15:00~15:30

2 場所 座間市役所3階庁議室

3 出席者

- (1) 南関東防衛局  
綿貫企画部長、石下管理部長、増田企画部地方調整課長(欠席)
- (2) 座間市  
北川副市長、加藤市議会副議長、  
内藤座間市基地返還等市民連絡協議会副会長、本山財務部長
- (3) 神奈川県  
三森基地対策担当局長(兼)基地対策部長(欠席)

4 会議の概要

(1) 在日米軍との協力関係構築のための取組について

① 日米協力事業

座間市から「令和7年5月7日に行った座間市、在日米陸軍基地管理本部、相模原市、陸上自衛隊座間駐屯地の4団体合同での相模川河川敷(座間市域)の清掃活動について南関東防衛局の協力に感謝する。今後、開催等にあたっては、引き続きご協力をいただきたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「南関東防衛局としても、関係自治体の方々と米軍との交流を深めることのできる貴重な機会であると考えており、今後とも参加させていただきたい。」との発言があった。  
また、座間市から「基地との協力、交流事業については、令和4年度、令和5年度に貴局にキャンプ座間における児童を対象とした交流事業を開催していただいたが、キャンプ座間と地元との相互理解を深めるためのすばらしい機会でもあるため、また機会を捉えて交流事業を実施いただきたい。」との発言があり、南関東防衛局から「南関東防衛局としても、米軍と周辺住民の方々と交流を通して、相互理解を深めることが出来るよう、スポーツ、音楽、文化活動などによる日米交流事業を実施している。再びキャンプ座間で開催できるよう、貴市と緊密に連携しながら調整していきたい。」との発言があった。

(2) 負担軽減等のための取組について

① 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づく施策

南関東防衛局から、「令和8年度から、民生安定助成事業のうち、子ども家庭センターなど子育て支援施設や老人デイサービスセンターなど高齢者支援施設の充実化、航空機事故等が発生した場合の避難等にも資する避難施設以外でも、例えば自衛隊、米軍と地域住民との交流を促進するための施設などを新たに採択できる要件を追加する。」「防音助成事業を一般助成事業へ統合し、これまでは騒音の障害が著しい飛行場等の周辺において、騒音障害が認められた場合のみ新設できた博物館や図書館等について、騒音以外の障害で新設できるよう採択要件を充実する。」「騒音障害がある場合は、一般助成事業で防音工事を対象化する。」との説明があり、これに対して、座間市から「防衛予算など事情は理解するが、民生安定助成事業における新規事案について2事案以上の採択をお願いしたい。」「民生安定助成事業における学校等教育施設の補助対象拡充など、引き続き市民が負担軽減を実感できるような積極的な対応をお願いしたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「地元の御要望に沿えるよう施策の拡充について検討を続けており、今後ともしっかりとコミュニケーションをとらせていただき、ご要望に応えられるよう努力していきたい。」との発言があった。

(3) 運用の態様の変更等について

① 在日米陸軍の部隊編成等

座間市から「令和7年8月に報道のあった在日米陸軍の部隊編成等における多領域部隊(マルチドメイン・タスクフォース)について、貴局への問い合わせ後、在日米軍の動向について示せる情報がありましたらお聞きしたい。」との発言があり、南関東防衛局から「防衛省としては、様々なレベルで米側と緊密な意思疎通を行っているが、御指摘の報道に関して現在ご提供できる情報はありません。そのような情報が米側から得られた際には、速やかにお伝えしたい。」との説明があった。

また、南関東防衛局から「キャンプ座間に所在する在日米陸軍の「第一軍団(前方)」について、これまで在日米陸軍ホームページの組織図において、米軍内の呼称に合わせて「太平洋陸軍(前方)」と記載されていたため、混乱が生じていたが、この度米側より、部隊の正式名称は引き続き「第一軍団(前方)」であるため、組織図を正式名称に合わせて修正したとの説明を受けている。」との説明があり、これを受け、座間市から「この度の説明では、正式名称は引き続き「第一軍団(前方)」とのことだが、米軍内での呼び方と部隊の正式名称には相違があると理解してよいのか。」「正式名称である「第一軍団(前方)」という名称に変更はなかったと理解してよいのか。」との発言があり、これに対し、南関東防衛局から「米側から米軍内での便宜上の呼び方と部隊の正式名称には相違があるが、第一軍団(前方)の正式名称にこれまで変更はないとの説明を受けている。」との説明があった。最後に座間市から「在日米軍、特に在日米陸軍の組織などの動向については、キャンプ座間に影響が及ぶものであり、市民への影響が大きくなる可能性があるものと懸念している。」「引き続き、その動向に変化があれば、速やかに情報の提供をいただきたく改めてよろしく願います。」との発言があった。

(4) その他の事項について

① キャンプ座間内のスポーツ、レクリエーション施設の市民利用

座間市から「第24回幹事会において「常時ではなく日時や施設を指定した場合はどうか。その際例えば市内団体のみの利用は可能か」と伺ったことについて「座間市の意向を米軍にお伝えしたい。」とのことであったが、米側の反応を伺いたい。」との発言があった。これに対し、南関東防衛局から「本件については、キャンプ座間内の野球場の利用も含めて米側と引き続き協議をしており、結論がまとまり次第、また説明させていただきたい。」との説明があった。これを受け座間市から「引き続き、協議に御尽力いただきたく改めてお願いしたい。」との発言があった。

② キャンプ座間における水道等の使用について

南関東防衛局から「昨年座間市議会の要請の中で、「座間市域内の米軍水道施設は現在使われているか」「使われている場合、使用目的は何か」「一日平均でどのくらい取水量があるか」「キャンプ座間内での地下水の使用量は、県水を含めた全体の何割くらいか」という質問をいただいたが、在日米陸軍基地管理本部から、回答に時間を要したことへのお詫びと、慎重な検討の結果として、キャンプ座間の水道施設に関して現地レベルで答えられないと判断したため、今後は南関東防衛局を通して在日米軍司令部までお問い合わせいただきたいとの回答があった。」との報告があった。これに対し、座間市から「問い合わせ方法がわかったため改めてお伺いしたい。」「今後とも基地に関する取組みとして要請させていただくのでよろしく願いたい。」との発言があった。